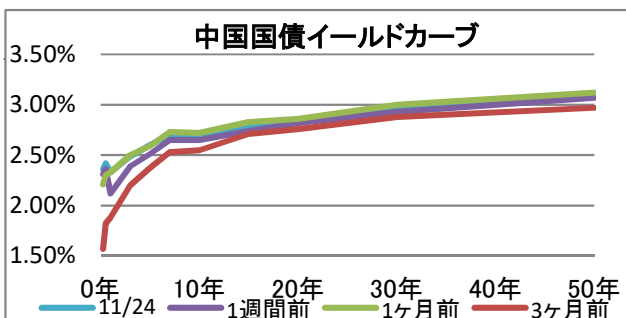
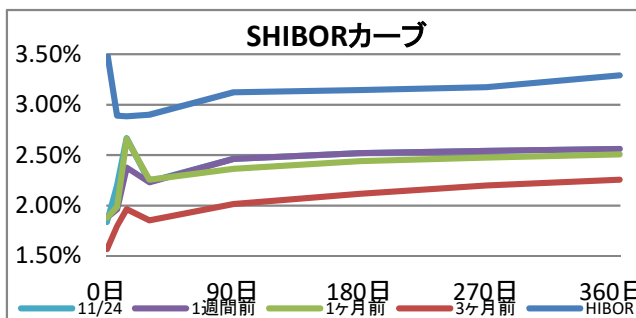


基準レート		2023/11/24	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1151	-0.0577
	JPY/CNY	4.7657	-0.0144
SHIBOR	3M	2.4620%	+0.0009%
国債利回り	10年	2.71%	+0.06%
上海総合指数		3,040.97	-13.40



## (1) 概況

国際金融市場では、感謝祭ウィークの動意に乏しい中、FOMC議事要旨により市場の過度の楽観は後退したものの、中東情勢を巡る緊張緩和もあり、感謝祭休暇前に株価は反発し、債券利回りは上昇に転じている。外為市場では、FOMC議事要旨公表後にはドルの買い戻しも見られたが、その後は欧州PMIの改善等を材料にドル安に戻っており、小幅なレンジ取引が続いた。

中国金融市場では、不動産市場低迷による景気への影響と政府の景気支援策に対する期待が交錯する中、元高局面を捉えた外国投資家の資金流出もあって株式市場は下落に転じ、債券市場では、国債が資金需給悪化や増発懸念から下落（利回りは上昇）し、週後半の人民銀行の資金供給増により下げ止まっている。外為市場では、米利上げサイクル終了への期待や人民銀行の元高設定継続等から7.13台まで元高が進んだものの、月末の外貨需要や外国投資資金流出もあって、7.15台まで戻している。

中国では、李強総理が新設された中央金融委員会のトップに就任し、同委員会で金融監督強化を含む金融分野の高い質の発展に関わる重点任务等を審議し、国務院常務会議では「非銀行決済機関に対する監督管理条例」を決議し、G20首脳会談では開放的・包容的な方法で各国と協力し、世界経済回復・発展のためにより多く貢献するとの方針を示し、国務院・法務関連部署はビジネス環境最適化のため、国内外企業の権益を平等に保護し、市場参入や競争の公平性の規範化を進める方針を示した。人民銀行等が、科学技術促進のためにより多くの金融資源を投入する方針を示し、人民銀行と外貨管理局が、資本勘定関連業務の電子化レベル向上に関する通知を、外貨管理局が金融市場開放に向けて外為関連手続きを更に簡素化する方針を示し、同局トップには中信集団董事長の朱鶴新氏が就任。証監会は、デリバティブ市場の健全な発展や金融リスク防止、監督管理規制の回避行為を取り締まる「デリバティブ取引の監督管理法（パブコメ）」を、北京市は北京証券取引所に上場する中小企業への支援方針等を示し、香港証券取引所は中国国債先物取引の開始（認可取得後）を公表。上海証券取引所がドバイ金融市場と資本市場協力に関する覚書を締結。また、大手民営資産管理会社の中植企業集団が債務超過であることが明かとなり、不動産関連では、中堅不動産・融創中国が外貨建て債務再編の発効を公表し、複合企業万達集団傘下の不動産会社が、ドル建て償還済の約1年延期を債権者に要請、格付会社フィッチが同集団傘下の商業施設会社の格付けを引下げ一方、金融当局が融資適格となる不動産会社50社のリストを検討中で、その中に碧桂园が含まれることや、一部不動産企業に対する銀行の無担保融資を認める検討を進めている等の報道があった。

## (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日17,610億元、中央国庫定期預金期日500億元に対して、リバースオペ21,670億元、中央国庫定期預金900億元を実施し、ネットで4,460億元を供給。

## (3) 主な経済指標

特になし

## ② 資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8370%	1.8370%	1.7500%	
1W	2.1950%	2.3500%	2.1000%	2.4100%
2W	2.6690%	2.7000%	3.2000%	2.4000%
1M	2.2360%	2.7000%	2.5000%	2.3700%
3M	2.4620%	3.2000%	2.8600%	2.6100%
6M	2.5210%	3.1000%		2.6200%
9M	2.5410%			2.6350%
12M	2.5610%	3.0110%		2.6450%

国債等の増発や景気支援融資対応に伴う資金需給の悪化への懸念等から、資金需給がタイトな状況が続いており、人民銀行の金融調節が期待を下回っていることもあって、年末（期末）を越える期間の金利水準は一段と上昇。ターム物は、1ヶ月を越える期間の出合いは引き続き限定的となっており、1ヶ月が2.5%前後で取引されているのみとなっている。

NCDの金利水準は、月末に近づくにつれて上昇する展開となり、1ヶ月が2.35%前後、3ヶ月と6ヶ月が2.6%前後、1年は2.6%台前半で取引されている。

### (2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	5.34%	5.35%
1W	5.45%	5.49%
1M	5.65%	5.70%
3M	5.98%	6.00%
6M	6.05%	6.10%
12M	6.10%	6.15%

中国国内市場のターム物の金利水準は高止まりが続いており、金利水準にも大きな変化は見られない。ターム物の出合いは、1ヶ月が5.6%台後半、3ヶ月も6.0%前後で取引されている。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.36%		2.49%	2.61%	2.77%
6M	2.42%		2.54%	2.70%	2.87%
1Y	2.33%	2.36%	2.68%	2.76%	2.92%
3Y	2.49%	2.66%	2.82%	2.91%	3.26%
5Y	2.60%	2.80%	2.90%	3.07%	3.71%
10Y	2.71%	2.98%	2.98%	3.11%	3.82%

米国債券市場では、FOMC議事要旨により過度の楽観が後退し、感謝祭休暇により市場参加者が減少していく中で、個人消費鈍化とインフレ高止まり懸念が交錯して小動きとなっていたが、中東情勢改善期待から長期債利回りは上昇に転じた。中国債券市場では、財政拡大による景気刺激に伴う国債増発懸念から国債利回りが上昇。この結果、米国の10年国債利回りは4.47%（前週末比+3bp）に、10年中国国債利回りも2.71%（同+6bp）に上昇したことから、利回り差は+176bp（同-3bp）に縮小している。

中国債券のイールドカーブは、資金需給の引き締めから短期の利回り上昇によるフラットニングが続いている。クレジットスプレッドは、国債利回りが増発懸念から上昇する一方、信用債利回りは信用リスクの低下により低下していることから、大幅に縮小している。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-209.5 / -208.9
3M	-655.0 / -654.0
6M	-1305.2 / -1300.0
9M	-1956.0 / -1950.0
12M	-2584.0 / -2582.0

対ドル基準レートは7.1151と前週末比-577pipsのドル安元高、対円基準レートは4.7657同-144pipsの円安元高と、対ドルでの元高水準の設定が続いている。中国国内市場では、週初にドル安を背景に大幅な元高で始まり、中国政府による景気刺激策への期待もあって7.13近辺まで元高が進んだものの、月末の外貨需要や元高水準では国外投資資金の流出拡大により下値も限定的となっており、7.15台に戻して週末を迎えている。

先物は、直物市場での元高や人民元金利の上昇等によりマイナス幅が一段と縮小していたものの、動意に乏しく、1年物は-2500台後半に戻して週末を迎えている。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.32%		1.75%
6M	2.22%	2.43%	1.75%
9M	2.18%	2.40%	1.70%
1Y	2.17%	2.39%	1.69%
3Y	2.29%	2.55%	1.90%
5Y	2.50%	2.78%	
7Y	2.61%	2.90%	
10Y	2.65%	2.95%	

短期の基準金利の上昇や利率債利回りの上昇により、スワップ金利も短期を中心に全体的に上昇しており、フラット化が続いている。債券利回りとの差であるスワップスプレッドは、スワップ金利の上昇により縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しの書面や目録見書をよくお読みください。